

四街道市 平成26年度第1回保健福祉審議会

子ども・子育て部会 会議録（概要）

|      |   |
|------|---|
| 日 時  | 平成26年6月1日（日） 午前10時00分～午後0時35分   |
| 会 場  | 福祉センター3階会議室1  |
| 出席委員 |   |
|      | 江口 勝善<br>岡田 はる美<br>中村 修治<br>有川 良子<br>飛田 周彬<br>松戸 智宏<br>高倉 幸世<br>神保 友紀<br>山田 真琴                                    |
| 欠席委員 |   |
|      | なし  |
| 傍聴者  | 8名  |
| 会議次第 |   |
|      | 1. 開会<br>2. 委嘱状交付<br>3. 健康こども部長挨拶<br>4. 正副部会長の選出<br>5. 議題<br>①子ども・子育て支援事業計画策定について<br>②需要量見込みについて<br>③その他<br>6. 閉会 |

## 1. 開会

## 2. 委嘱状交付

【健康こども部長】

## 3. 健康こども部長挨拶

(健康こども部長より挨拶)

## 4. 正副部会長の選出

【事務局】

本日は委員改選後初めての開催となりますので、部会長の選出をお願いしたいと思います。保健福祉審議会の部会長は、審議会条例第7条の規定により、委員の互選によって定めることになっておりますが、いかがいたしましょうか。

【飛田委員】

事務局一任でお願いします。

【事務局】

事務局一任とのご意見がありました、いかがでしょうか。

【委員】

(意義なし)

【事務局】

それでは、学識経験ということで江口委員お願いできますか。

【江口委員】

はい。

【事務局】

よろしくお願いします。それでは、ご挨拶を頂戴したいと思います。

【部会長】

四街道旭幼稚園に勤務しております。また、土日を中心に活動している放課後子ども教室「まじゅりんこ」の代表をしております。急なご指名で、また不慣れですが、みなさまご協力よろしく申し上げます。

【事務局】

続きまして、副部会長の選出ですが、審議会条例第7条の規定では、部会長に事故があるとき、または欠けたときは、あらかじめ指名する委員がその職務を代理するとされておりますので、部会長に指名をお願いしたいと思います。

【部会長】

それでは、市民代表ということで飛田委員いかがでしょうか。

【飛田委員】

私は今回初めての出席で勉強したいので、何回か出席されている方が良いのではないかと。

【事務局】

経験のある方とのご意見でしたが、参考まで前回の会議では中村委員にお願いしております。

【部会長】

それでは、中村委員いかがでしょうか。

【委員】

(異議なし)

【事務局】

それでは、中村委員にご挨拶を頂戴いたします。

【副部会長】

大日保育園園長の中村です。市内に保育所が分園を含めて11園ありますが、私は千葉県保育協議会印旛支会四街道ブロックの理事を務めております。少しでもお役に立てればと思い、引き受けさせていただきました。よろしくお願いします。

【事務局】

ありがとうございました。これからの議事進行は、江口部会長にお願いいたします。

【部会長】

初めに、本日の会議の会議議事録における発言者名については会議の公開に関する指針により明記することになっております。本部会においても同様としたいと思います。  
また、本日は傍聴希望者がいらっしゃいますが、会議を公開することにより、公正かつ円滑な議事運営に支障が生じるとは認められないと思われまので、公開とし、会議資料についても傍聴人に配布することとしたいと思います。委員の皆さまいかがでしょうか。

【委員】

(意義なし)

【部会長】

それでは公開としますので、傍聴人のご入室をお願いします。

## 5. 議題

### ①子ども・子育て支援事業計画策定について

【部会長】

議題①子ども・子育て支援事業計画策定について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

(議題①について説明)

【部会長】

事務局の説明について、委員の皆さまのご意見、ご質問をお願いします。

【山田委員】

幼稚園・保育園については記載がありますが、こどもルームについてはどのようにお考えでしょうか。

【事務局】

地域子育て支援事業計画の中に放課後児童健全育成事業として見込み量を推計して計画に盛り込む形となります。こどもルームにつきましても、現在、国・県のガイドラインに基づいて運営を行っておりますが、市町村の条例で基準等定めていく予定です。

【山田委員】

幼稚園・保育園については意見交換会が予定されておりますが、こどもルームについても是非お願いします。

【事務局】

意見交換会につきましては、まだ日程等具体的に決まっていない状況ですが、こどもルームも合わせて検討させていただきます。

【部会長】

他になければ、議題（２）需要量見込みについて、事務局の説明をお願いします。

## ②需要量見込みについて（資料１～資料４）－１

【事務局】

（議題②について説明）

【部会長】

事務局の説明について、委員の皆さまご意見、ご質問をお願いします。

【松戸委員】

資料４の２ページの割合は、４月入所を控えた時期に調査したデータなのか、入所後の待機児童を含めたデータなのか。

【事務局】

待機児童は入所が決まる４月１日が最も少なく、その後増えていく傾向がありますが、こちらは各年度１２月時点での待機児童も含めた数字です。

【松戸委員】

保育利用率に対して余裕率を設ける予定はあるか。

【事務局】

子どもの人口推計値はほぼ横ばいですが、利用意向は１．０３％ずつ伸びる見込みで算出していることもあり、更に余裕を設けることは今のところ考えていません。全国的にニーズ量は過大に出る傾向があり、国でも適切な補正が必要としていることから、本市においては過去の待機児童も含めた実績に基づいてニーズ量を算出していく予定です。

【部会長】

他にいかがですか。

**【飛田委員】**

3点伺います。

- ①四街道市総合計画では人口推計が増加しているが、人口問題研究所は減少すると推計している。事務局作成資料は上昇数値で算出しているが良いのか。
- ②四街道市は「子育て日本一」をテーマに掲げているが、資料のパーセントからは何を日本一にしたいのかわかりにくい。待機児童解消が子育て日本一などのテーマはあるのか。
- ③市内の学校の余裕教室や商店街の空き店舗の施設開放の問題に対する声が挙がっていると思うが検討しているか。例えば、商店街の空き店舗を保育所に利用したいと考えたときに条例で制限されているのであればそれを緩和するなど、方向性を示す必要があるのではないか。

**【事務局】**

人口は、もねの里など開発地域に若い世代が入ってきており、子どもの人口は減ってはいないか横ばいの状況だと把握しています。また、今年度から新たにスタートした総合計画との整合性も考慮しました。

**【飛田委員】**

数十年前に開発した団地では、子ども世帯が他の地域に出て行き高齢化が進んでいる団地が大半ではないか。子ども世帯が流出しては、今後財政が厳しくなり、保育所の建設費用の捻出など難しくなる。子どものいる世帯が楽しい街づくりを企画することも大切ではないか。

**【事務局】**

人口については、過去5年間で5歳以下の人口は約4,400人から4,700人近くに増加しています。一方、幼稚園定員が約2,200名、保育園約900名と、未就学児全体から見ると教育・保育施設の受け皿が不足している状況です。例えば、みそら地区では数年前は高齢化が進んでいましたが、最近小規模開発が進み若い世代の流入がかなりあるようです。待機児童が減っていない現実もあるため、子ども・子育て部会ではそちらも踏まえてご意見を伺いたいと思っています。

また、余裕教室、商店街の活用ですが、9月議会では小規模保育の認定基準を条例化する予定です。面積要件、職員配置基準や、給付を受けられる基準などを示し、取り組んで参りたいと思っています。

**【飛田委員】**

開発を進めて若い世代が入ってきているが、やはり対策や工夫が必要。「子育て日本一」についても市民から提案を集めたら意外と面白いかもしれない。

千葉県の生涯大学校に通っているが、子育て支援に興味を持っている人が多く、高齢者を上手く使える仕組みがあってもよいのではないかと。

**【部会長】**

市民大学の講座も地域との関わりに重点を置いた内容に大きく変わってきている。また、学校施設の開放については、目的外使用というしぼりがあり、規制を取り除く作業が必要かと思う。

**【有川委員】**

保育利用率の25年度の市の数値（19.0%）と国のワークシートに基づくニーズ量（49.3%）の差をどのように比較したらよいのか。

また、3歳まで保育園に通い、その後は幼稚園に切り替えたいというニーズも多いと思うが、新制度によって幼稚園と保育園の教育内容が近くなることはないのか、今まで通りか。

**【事務局】**

アンケート調査では約50%のニーズ量が出ました。決して保育所希望者が少ないわけではないと思いますが、本当に半分の子どもが保育所を利用するかというと、実態と乖離しているのではないかと考えます。

**【コンサルタント】**

ニーズ量が大きく算出されている理由を説明します。まず、国のシートによる算出方法ですが、家族類型を分ける場合、現在の働き方を伺って分類します。次に、将来的にどのような働き方をしたいかという質問で、働きたい、フルタイムで働きたいなどというニーズが全て希望通りにならなかったと仮定し、潜在家庭類型に置き換えます。また、現在利用している保育サービスと今後利用したいサービスをすべて反映させます。つまり、就労希望が叶い、それに応じた保育サービスを利用したいというニーズが49.3%という数字です。

他の自治体でもほぼニーズ量は大きくでており、どこまで希望を満たすように持っていくのかをこの場で検討することになっています。

**【事務局】**

同じく補足になります。すぐに働く予定がある人以外にも、将来何年もあとでも働きたい希望がある人の全てが数字としておちてきます。また、利用希望施設については、幼稚園と保育所の選択肢に両方丸をつけていれば両方のニーズに含まれます。

**【部会長】**

新制度の出発にあたって、幼稚園と保育園の制度的な変更についてはいかがですか。

**【高倉委員】**

認定こども園は幼稚園と同じ学校教育法に含まれることになりましたが、幼稚園はもともと学校教育法に基づいているため、新制度になっても教育の質はかわらないと思います。認定こども園の教育指針は4月末に内閣府から示されたばかりですが、その指針に沿っていく形になると思います。

保育所と幼稚園は、出発点がもともと違うため、そのまま引き継がれるのではないかと。

**【飛田委員】**

認定こども園は幼稚園と保育園の中間的存在なのか。

**【事務局】**

現在の認定こども園は、見た目は一つの施設ですが幼稚園と保育園の認可を別々に受けて運営しています。新制度では認定こども園という一つの認可を都道府県から受けて運営することになるので、両方併せ持った存在になると思います。

**【飛田委員】**

保育園の現状をみると定員に対して在園児数が多いが、保育園の定員がオーバーした場合にペナルティなどはないのか。

**【事務局】**

定員の弾力化という制度があり、施設要件や保育士の人数などを充足した上で保育所が可能であれば120%まで受け入れられます。

**【部会長】**

他にいかがですか。

【岡田委員】

地域別のニーズ量というのはわかるのか。

旭ヶ丘自治会では社会福祉協議会などと連携して高齢者対象サロンを開催してきたが、今後新たにこどもルームのように放課後に子ども達を預かる活動を計画している。助成金の申請をしているがなかなか難しく、良い方法などあれば教えていただきたい。

【事務局】

アンケート調査において、居住地域を問う設問がありますので、地域別の集計は可能です。

【部会長】

地域的なニーズがわかれば、小規模保育をつくる時などにも、ベースの資料となりますか。

【事務局】

地域の考え方も皆さんのご意見を伺わないといけないのですが、地域別についても考えます。

【神保委員】

もねの里4～6丁目の開発が進んでいるが、学区再編でもめている。本来は南小学区だが、児童数が急に増え、離れた八木原小学校へ通うことになるかもしれないと保護者が不安になっている。開発だけでなく、住民を受け入れる教育施設の整備も同時に進めなければならないのではないか。

【部会長】

時間もだいぶ迫ってきました。議題のベースになるようなご意見をたくさんいただきましたので、事務局で反映させていただければと思います。

【山田委員】

南小、八木原小のこどもルームで定員がオーバーしている状況なので、幼稚園・保育園だけでなく学童保育についても子どもを預ける場としてもっと考えてもらいたい。お願いします。

【飛田委員】

資料4の3ページの推計値は新制度施行を加味した数字か。現在の実績に基づいた数字だと思うが、市民として平成27年度以降は新制度施行を加味した数字も知りたい。

【部会長】

他にいかがですか。

【山田委員】

国から学童保育と放課後子ども教室を一体化するプランが出ているようだが、四街道市ではどのように考えているか。

また、新聞記事で一定時間研修を受けると主婦でも保育指導員の資格が付与されると見たが、四街道市でも導入するのか。

【事務局】

学童保育を30万人分増やすとか放課後子ども教室のことが新聞に出ていましたが、一体化するには指導員やスペースの確保も必要なのですぐの実現できる状況ではありません。

また、指導員の資格については、正直我々も新聞報道で知ったという状況で、国からの指示もきておらず、具体的な検討もしていません。

**【高倉委員】**

すぐに答えを求めている質問ではないが、四街道の子ども・子育て事業というのは待機をなくすことが子育て支援だと考えているのか。預けたい子どもを預かることが子育て日本一ということなのか。いろいろな日本一があるが、しっかりした「子育て日本一」を出していただきたい。

**【事務局】**

ニーズ量は待機児童解消のためのものですが、当然確保の方策も踏まえて新計画を策定していく予定です。

**【部会長】**

まだ資料がございますので、事務局から説明をお願いします。

②需要量見込みについて（資料5～資料6）-2

**【事務局】**

（議題②について説明）

**【部会長】**

事務局の説明について、何かご意見等ございますか。

**【副部会長】**

資料の表記方法ですが、一時預かり事業について0歳児も対象となりますので「幼稚園在園児」という表記方法について変えたほうが良いのではないかと。

**【事務局】**

国の表記をそのまま使用したため、次回検討させていただきます。

③その他

**【部会長】**

その他事務局より連絡事項はございますか。

**【事務局】**

ございません。

**【部会長】**

これで第1回子ども・子育て部会を終了させていただきます。本日は長時間にわたり、ありがとうございました。

（終了）